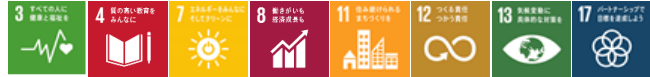


エコでクリーンな自転車の利用促進分科会  
 代表者兼コーディネーター：愛媛大学 社会共創学部准教授 山中 亮

想定会員数：6団体

(株)いよぎん地域経済研究センター、愛媛大学、(株)コープえひめ、(株)サイクルドリームプラス、四国電力(株)、星企画(株)  
 オブザーバー：松山大学(代表 小松 洋 教授)、松山市

設置の目的	自転車を通じて地域の活性化と低炭素な社会を目指す
目指すゴール	【経済】自転車関連ビジネスの推進及び観光客増加【社会】健康増進【環境】温室効果ガスの削減
	

分科会での活動内容と期待される成果

【背景】

日本では、2016年に自転車活用推進法が公布され、「環境」「健康」「観光」「安全」という4つの分野で整備が推し進められている。愛媛県松山市は、日本全体でもまだ自転車が珍しかった明治時代初期から自転車と接点があるなど、独自の自転車文化を有している。



自転車を安全に楽しむことができ、様々な場面で利用される



市民だけでなく観光客も自転車を利用しやすい環境の整備



サイクリスポーツの振興と集客による地域経済への波及

【活動内容】

- ① 自転車利用拡大につながる取り組み
  - ・シンポジウムやワークショップ、自転車教室の実施
  - ・通勤・通学や配送における自転車利用の促進
- ② 自転車の活用がより広がる環境の整備
  - ・シェアサイクルやレンタサイクルの活用推進
  - ・サイクルツーリズムなどの受け入れ環境の整備
- ③ 自転車を通じた地域活性化
  - ・サイクルロードレースやイベントの開催

【期待される効果】  
 <経済面>  
 自転車利用促進による関連ビジネスの発展やサイクルツーリズムによる観光客の増加  
 <社会面>  
 自転車での通勤通学者やサイクリストの増加、サイクリスポーツの普及による健康増進  
 <環境面>  
 エコでクリーンな自転車の普及や利用促進による自動車、バイクからの置き換えによる温室効果ガスの削減

ゴール達成に向けた指標	自転車関連イベントや教室の参加者数、サイクルツーリズム参加者数、企業・団体の自転車利用の増加(分科会団体数の増加、自転車通勤や業務利用する企業の増加等)
-------------	--